

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゆ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゆ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

KOBELCO “Kobenable Steel”がNETISに登録

業界初！低CO2高炉鋼材「Kobenable Steel」 国交省/新技術情報提供システム(NETIS)に登録

グリーンスチールの NETIS登録は業界初

株式会社神戸製鋼所は、高炉工程におけるCO₂排出量を大幅に削減した低CO₂高炉鋼材“Kobenable®Steel”を国内で初めて商品化した。このほど、当該鋼材が2024年5月13日付で国土交通省の新技術情報提供システム(NETIS)に登録された。グリーンスチールのNETIS登録は業界初となる。登録番号は「KK-240007」。

Kobenable®Steel

“Kobenable®Steel”は、同社独自の高炉向けCO₂低減ソリューション(※1)を活用し、同社の加古川製鉄所および神戸線条工場で製造している全ての厚

板、薄板、線条製品を対象としている。また、従来と同等の品質を維持できることから、同社が強みとする特殊鋼線材、超ハイテン等の高品質が要求される高炉材についても顧客は引き続き安心して使用できる。

NETIS

NETIS(New Technology Information System)は、国土交通省が民間企業等で開発された優れた新技術を公共工事に積極的に活用していくために、これらの新技術に関わる情報を広く開示・提供することを目的としたシステム。

“Kobenable®Steel”は既に国土交通省が発注する橋梁において採用実績があるが、NETISに登録されたことで、顧客が設計および施工段階において容易に採用できるようになったため、今

後採用拡大に向けた提案活動を推進していく。

社会に貢献する KOBELCOグループ

KOBELCOグループは、多様な事業を営む総合力を生かし、国内で初めて商品化した低CO₂高炉鋼材“Kobenable®Steel”を様々な分野に広く提供することにより、グリーン社会に貢献する。神戸製鋼所は、今後もKOBELCOならではの多様な事業・技術・人材のかけ算を通じて、社会課題の解決に挑み、ステークホルダーにとって「かけがえない存在」であり続けることを目指していく。

●用語の補足

※1：神戸製鋼独自の高炉向けCO₂低減ソリューション



Kobenable Steel

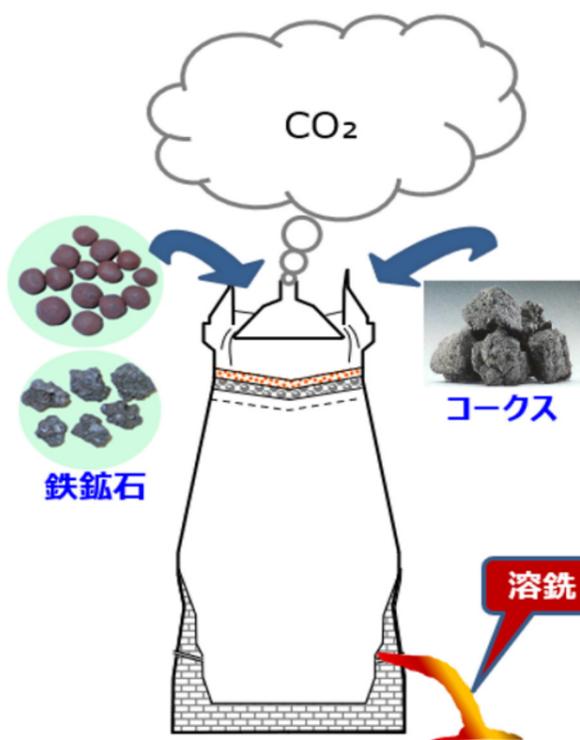
エンジニアリング事業のミドレックス技術(天然ガスを使った還元鉄製鉄法であり、世界の約80%(還元鉄全体では約60%)を占めるリーディングプロセス。製鉄工程でのCO₂排出量を20~40%抑制できることなどが特長)を用いて製造したHBI(熱間成形還元鉄)を加古川製鉄所の高炉に多量に装入することで、高炉からのCO₂排出量を大幅に削減できる技術。

(※資料提供：神戸製鋼所)

神戸製鋼の独自CO₂削減ソリューション

- 高炉でのCO₂排出量の削減には、還元を使用するコークスの削減が有効です。
- 神戸製鋼は鉄鉱石の一部を既に還元済みの鉄鋼原料である「HBI」に置き換える事で使用コークスを減らし、高炉でのCO₂排出の約25%低減に成功しました(従来技術比約2倍の削減量)。

【通常の高炉操業】

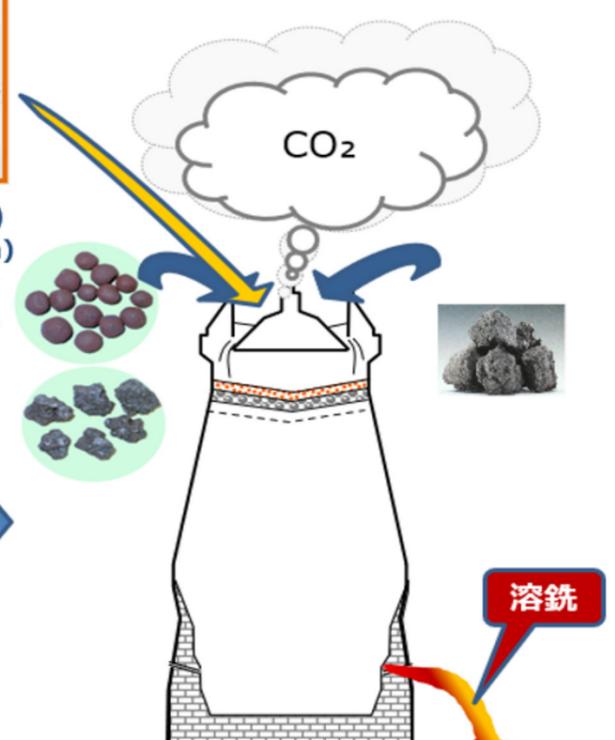


【神戸製鋼の低CO₂操業技術】



HBI(直接還元鉄) (Hot Briquetted Iron)

天然ガスを改質した還元ガス(水素リッチ)で、直接還元した鉄源



HBIを大量装入しても
安定操業できる技術を確立！